

お手入れのしかた

お手入れの際は、安全のため電源を切ってしばらくしてから行ってください。

- 明るく安全に使用していただくため、定期的(6ヶ月に1回程度)に清掃、点検してください。
- ベンジン、シンナーなど揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変質の原因になります。
- 器具全体に水をかけたり、水の中につけて洗うことは絶対にさけてください。
- 本体の汚れを取るときは、柔らかい布に石けん水(中性洗剤)を含ませて汚れをふき取ってください。
その後、水ぶきして石けん分を取り除いてください。
- 照明器具には、寿命があります。一般的な使用状態で、照明器具の交換時期は8年~10年です。

定 格

LEDランプは仕様変更の為、モデルチェンジする場合(ランプ形名変更あり)があります。

形 名	定格電圧	定格周波数	定格消費電力	口 金	電源接続	使用ランプ
XW-LE17111-*L	AC100V	50Hz/60Hz	4.3W	E17	端子台 (送りなし)	LDA4-H-E17/E/S/W/2×1灯

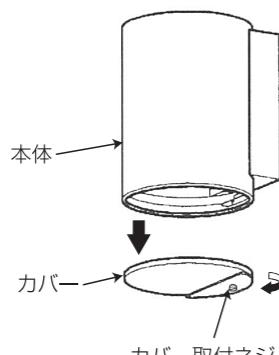
LEDランプの交換方法

必ず電源を切り、LEDランプやその周辺が冷めてから行なってください。



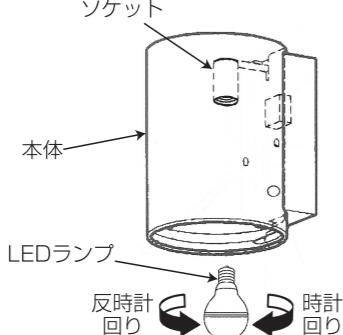
必ず電源を切り、器具とLEDランプが冷めてから交換してください。
感電・やけどの原因となります。

1. カバー取付ネジを回して、カバーを本体から取り外してください。

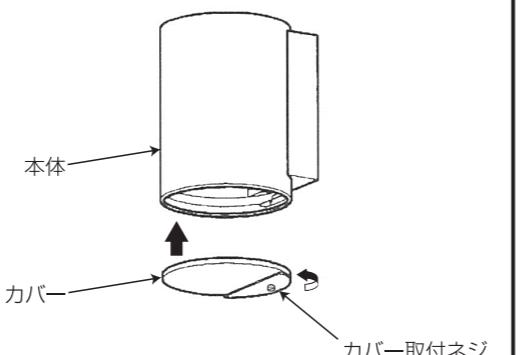


2. 古いLEDランプを時計回りに回してはずし、新しいLEDランプを本体のソケットに合わせて反時計回りに確実に取り付けてください。

適合ランプ(E17 100V LDA4)
電球形LEDランプ専用
小形電球40形相当以下



3. カバーを本体にはめ込み、カバー取付ネジを回して、確実に取り付けてください。



注) カバーのひび割れ・欠けなどの異常がないか確認のうえ、作業してください。



落下・破損のおそれあり
・取り付けが不完全な場合、落下によるけがの原因となります。
・強く締め過ぎた場合、カバー破損によるけがの原因となります。

故障?と思われたら

ご使用中に異常が生じたときは下表を参考にお調べください。

下表以外の故障と思われる時は、主電源を切り、お近くの弊社製品取扱店にご相談ください。

なお連絡されるときは器具の形名及びお買い求め時期をお忘れなくお知らせください。

形名は本体内面の器具ラベルに表示しています。

症 状	主 な 原 因	処 置
照明器具が点灯しない	・壁スイッチの電源がOFFになっている。	壁スイッチをONにする。
	・LEDランプがソケットに正常に取り付いていない。	LEDランプをソケットに確実に取り付ける。
	・LEDランプの寿命。	LEDランプを交換する。
	・電源線の接続が不完全。(正常に接続されていない)	器具の取り付け方法の3頁を参照して確実に接続する。

株式会社ホタルクス 〒105-0014 東京都港区芝1-7-17 http://www.hotalux.com/ (土曜、日曜、祝日、年末年始および当社指定の定休日を除く)

製品・お取り扱いなどのご相談 受付時間 平日 9:00-12:00 13:00-17:30

修理・アフターサービスのお問い合わせ 受付時間 平日 9:00-17:30

お客様相談室 ☎ 0120-52-3205 FAX. 0748-61-2330

修理受付センター ☎ 0120-334-031 ☎ 0748-61-2361

(リーダイヤルが利用できない場合)

NEC 照明器具

保証書添付 保存用
防 雨 一般住宅用

取扱説明書

注意図記号と
シグナル用語の
意味について

- ⚠ 警告 : 誤った取り扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性のあるものです。
⚠ 注意 : 誤った取り扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくものです。

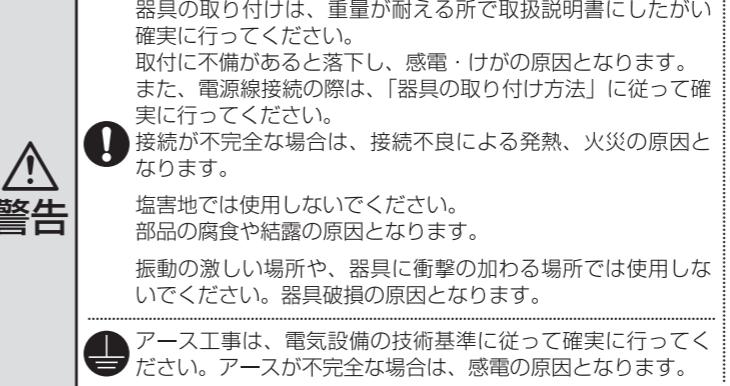
372-489 XW-LE17111-*L セツメイショ ①

- このたびは弊社製品をお買い上げくださいましてありがとうございます。
- 取り付けの前には必ずこの取扱説明書を最後まで読み、正しく施工してください。
- 取付工事が終りましたら、この説明書をご使用になるお客様が保管してください。

- ⚠ : この記号は、注意(警告)をうながす内容があることを知らせるものです。
🚫 : この記号は、禁止の行為であることを知らせるものです。
❗ : この記号は、行為をお守りいただく内容を知らせるものです。

器具取り付け時の安全上の注意

- ご使用の前に、この「器具取り付け時の安全上の注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- お読みになったあとは、(いつでも見られる所に)必ず保管してください。



器具の取り付けは、重量が耐える所で取扱説明書にしたがい確実に行ってください。
取付に不備があると落下し、感電・けがの原因となります。
また、電源線接続の際は、「器具の取り付け方法」に従って確実に行ってください。
接続が不完全な場合は、接続不良による発熱、火災の原因となります。

塩害地では使用しないでください。
部品の腐食や結露の原因となります。
振動の激しい場所や、器具に衝撃の加わる場所では使用しないでください。器具破損の原因となります。

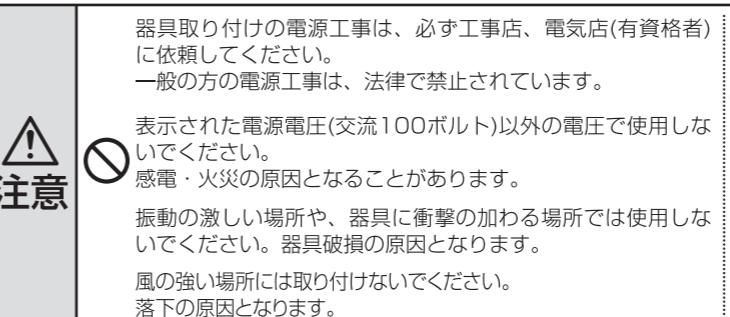
アース工事は、電気設備の技術基準に従って確実に行ってください。アースが不完全な場合は、感電の原因となります。

タイル面など取付面とのすき間に凹凸がある場合は、本体パッキンと取付け面とのすき間を防水シールなどで埋めてください。
防水が不完全な場合、火災・感電の原因となります。



メタルラス張り、ワイヤラス張り、金属板張りの造営材に器具を取り付ける場合は、器具の金属部と絶縁をとってください。(木ネジ、器具本体とメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電気的に接触しないように取り付けてください。)
絶縁が不完全な場合、火災の原因となります。

ポリエチレン系絶縁体を使用したEM(エコマテリアル)ケーブルをご使用される場合には、末端部付近の絶縁体露出部には黒テープなどで覆い保護をしてください。
感電・火災の恐れがあります。

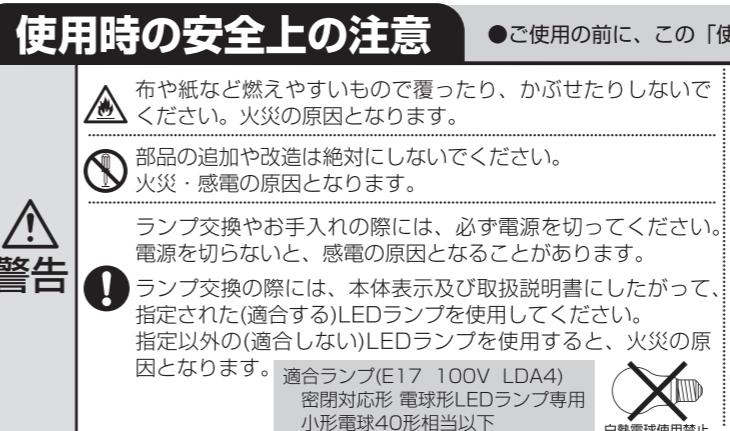
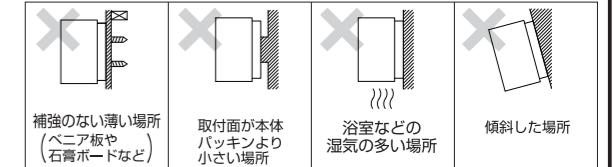


器具取り付けの電源工事は、必ず工事店、電気店(有資格者)に依頼してください。
一般の方の電源工事は、法律で禁止されています。

表示された電源電圧(交流100ボルト)以外の電圧で使用しないでください。
感電・火災の原因となることがあります。

振動の激しい場所や、器具に衝撃の加わる場所では使用しないでください。器具破損の原因となります。
風の強い場所には取り付けないでください。
落下的原因となります。

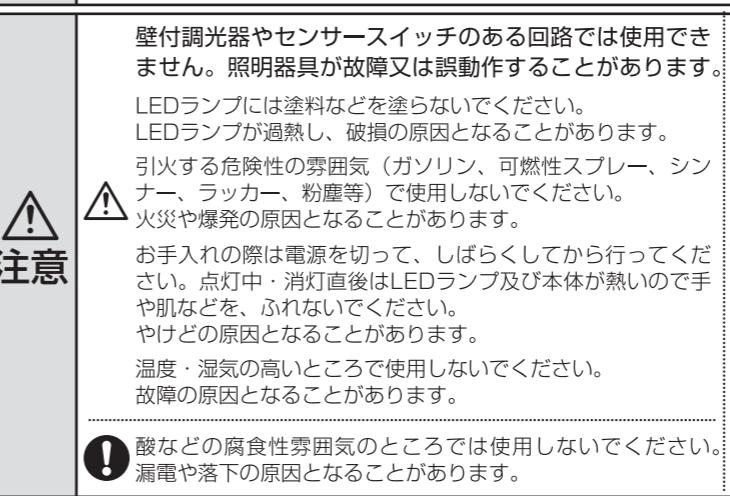
この器具は壁付用防雨形の器具です。軒下、外壁など直接雨水のかかる場所で使用できます。ただし防浸透ではありませんので、水中に浸して使用しないでください。
また、下記の場所には、取り付けないでください。
火災・感電・落水によるけがの原因となります。



ランプ交換等によりカバー、本体を外し、再度取り付ける場合は、取扱説明書にしたがって確実に取り付けてください。
不完全に取り付けると、落としてケガ・物損の原因となることがあります。

万一、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。
すぐに主電源を切ってください。異常状態がおさまったことを確認して電気店に修理を依頼してください。

照明器具の隙間や放熱穴に、金属類や燃えやすいものなどを差し込まないでください。火災・感電の原因となります。
お手入れの際は、水洗いはしないでください。
火災・感電の原因となります。



壁付調光器やセンサースイッチのある回路では使用できません。照明器具が故障又は誤動作することがあります。

LEDランプには塗料などを塗らないでください。
LEDランプが過熱し、破損の原因となることがあります。
引火する危険性の雰囲気(ガソリン、可燃性スプレー、シンナー、ラッカー、粉塵等)で使用しないでください。

火災や爆発の原因となることがあります。
お手入れの際は電源を切って、しばらくしてから行ってください。点灯中・消灯直後はLEDランプ及び本体が熱いので手や肌などを、ふれないでください。
やけどの原因となることがあります。

温度・湿気の高いところで使用しないでください。
故障の原因となることがあります。

酸などの腐食性雰囲気のところでは使用しないでください。
漏電や落水の原因となることがあります。

照明器具には寿命があります。
設置して8~10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換してください。
点検せずに長期間使い続けると、まれに、発煙、発火、感電などに至る恐れがあります。(1年に1回は、「安全チェックシート」により、自主点検してください。)

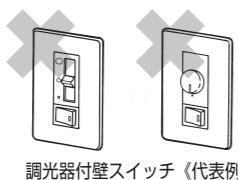
万一、カバーなどが破損した場合、ケガの原因となることがありますので、破損部分に直接手や肌などをふれないでください。
粉塵の多いところでは、使用しないでください。
故障の原因となることがあります。

安全に使用していただくために、定期的に清掃、点検してください。不具合がありましたら、そのまま使用しないで工商店、電器店に修理を依頼してください。

暖房器具、ガス器具等の真上やその付近等の温度の高い場所では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

⚠ 注意

本器具を取り付ける電源回路(壁スイッチ等)に調光器やセンサースイッチが接続されている場合、LEDランプが正常に点灯しなかったり、器具が故障することがあります。接続されている場合は必ず調光器やセンサースイッチを取り除いてください。(交換工事は電気工事店に依頼してください。)



使用上のご注意

- ランプ交換の際は電源を切り、LEDランプや本体が冷えてから適合ランプに交換してください。指定以外の(適合しない)ランプを使用すると、火災の原因となります。**必ず電源を切り、ランプが冷えてから取り替えてください。**
- 点灯中にLEDランプや本体に触れないでください。ヤケドの恐れがあります。
- 安全上、LEDランプを直視することはおやめください。
- AC100V専用器具です。200Vでは使用できません。
- ストーブなど特に温度の高くなる場所での使用はさけてください。

- LEDランプに使用しているLED光源にはバラツキがあるため、同一形名商品でも、それぞれ商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。ご了承ください。
- 点灯および消灯後に器具構成材料の熱伸縮により、若干のきしみ音が発生することがありますが、異常ではありません。
- LEDランプの特性により、照射距離が近い場合や照射面等によって光ムラが気になる場合があります。ご了承ください。
- 本体を分解したり、改造したりしないでください。火災などの原因となります。

点灯順序

- ・本品には点滅スイッチはありません。壁スイッチなどで点滅動作を行ってください。
- ・本品には常夜灯はありません。

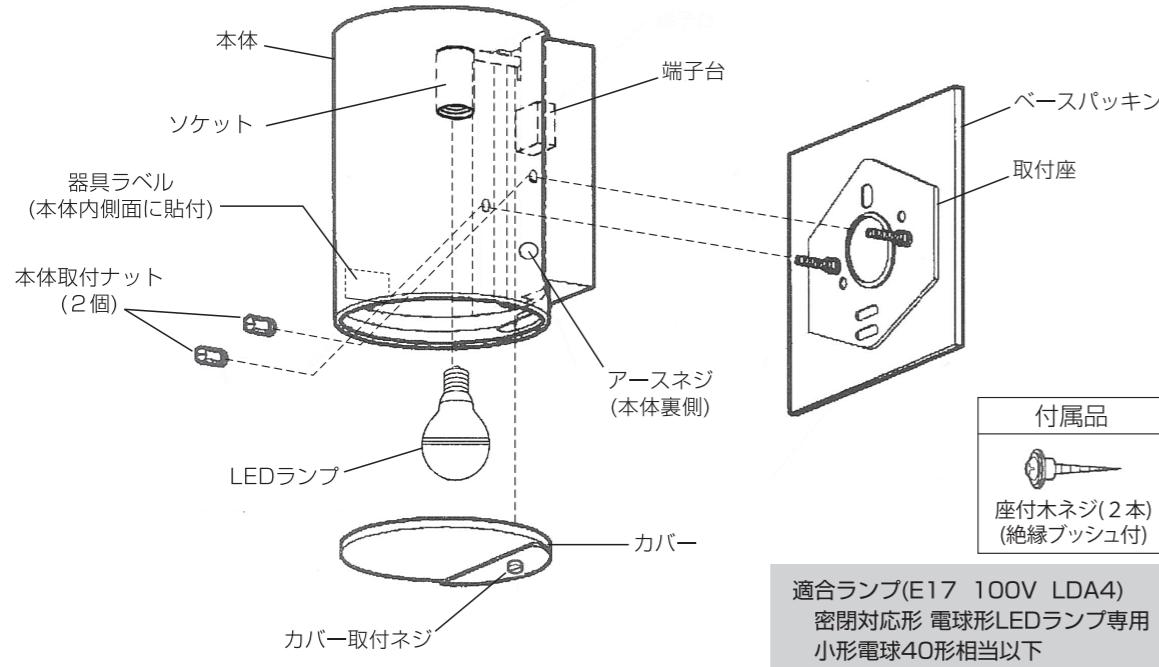


器具の取り付け方法

器具の取り付け(取りはずし)を行う際は、感電等の事故防止の為、必ず電源を切って行ってください。

各部の名称

この図は一部省略抽象した共通部品図です。機種によってカバー形状が異なる機種もあります。



※上図は器具の一部を簡略化しています。

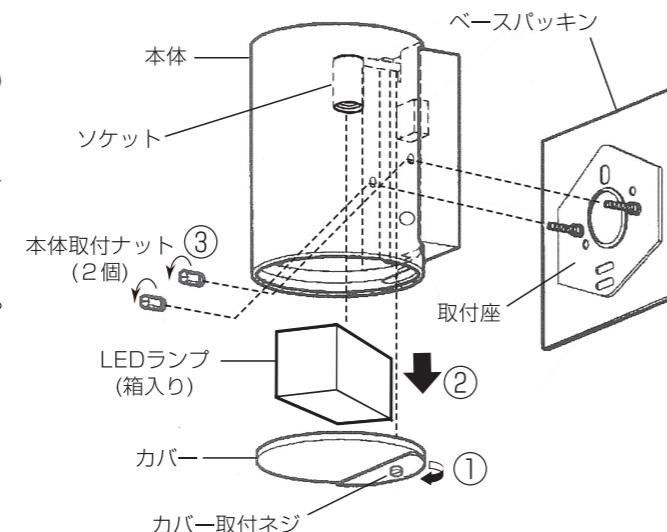
この器具は、壁面取付専用です。器具重量に充分耐えることを確認してから取り付けてください。

器具取り付けの電源工事は電気工事士の資格が必要です。

電源工事が必要な場合は、必ず電気店(有資格者)に依頼してください。
一般の方の電源工事は、法律で禁止されています。

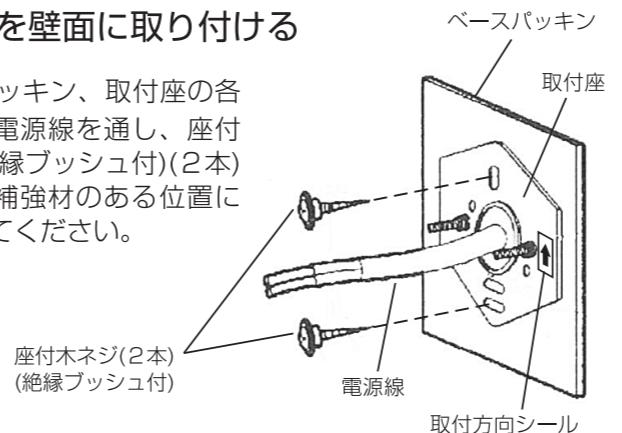
1. 取付座を取り外す

- ①カバー取付ネジをゆるめて、本体よりカバーを取り外してください。
- ②LEDランプ(箱入り)を取り出してください。
- ③本体取付ナット(2個)をゆるめて、取付座を本体から取り外してください。



2. 取付座を壁面に取り付ける

- ベースパッキン、取付座の各電源穴に電源線を通し、座付木ネジ(絶縁ブッシュ付)(2本)で壁面の補強材のある位置に取り付けてください。



取付座の↑矢印が必ず上向きになるように取り付けてください。

注) 取付面に凹凸のある場合は、コーティング処理を施し、平滑にして取り付けてください。凹凸のまま取り付けると防水機能が損なわれることがあります。取付面が平にならない場合は、パッキンを被うように、防水用シール材で防水処理をしてください。

警告 取り付けが不完全な場合、防水機能が損なわれ、落下・絶縁不良・漏電の原因となります。

3. 電源線を接続する

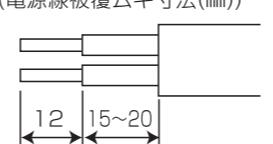
警告 感電・火災のおそれあり。
・電源線の取り付け・取り外しは、必ず電源を切ってから行ってください。

器具取り付けの電源工事は、電気工事士の資格が必要です。
電源工事が必要な場合は、必ず工事店、電気店(有資格者)に依頼してください。

電源線の被覆を下図のようにはがし、本体裏面の端子台の電源線差し込み口に確実に差し込んでください。

差し込んだあとは、必ず電源線を引っ張って抜けないことを確認してください。

(適合電線は単線のΦ1.6とΦ2.0です。)
(電源線被覆ムキ寸法(mm))



12 15~20

端子台

電源線

はずし穴

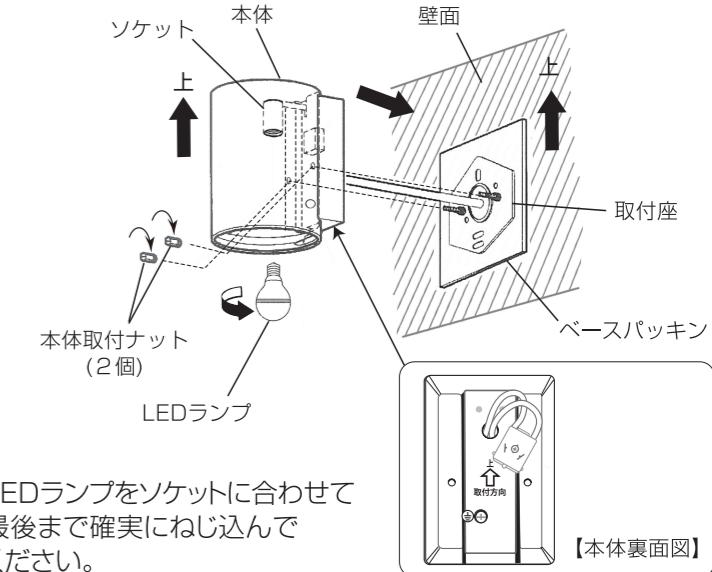
電源線をはずす場合

必ず電源を切ってからマイナスドライバー等をはずし穴に差し込み電源線を引き抜いてください。

4. 本体・LEDランプを取り付ける

- ①本体を取付座に合わせて、本体取付ナット(2個)で確実に取り付けてください。

本体裏面の↑矢印が必ず上向きになるように取り付けてください。
アース線の取り付けは、電気設備の技術基準にしたがって確実に行ってください。

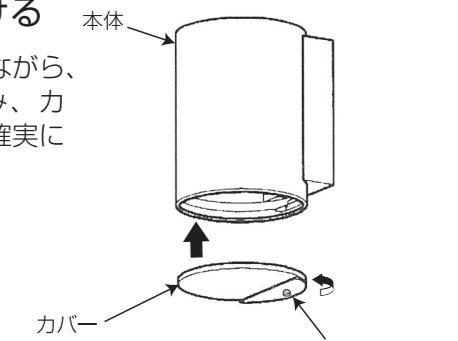


- ②LEDランプをソケットに合わせて最後まで確実にねじ込んでください。

警告 取り付けが不完全な場合、防水機能が低下し、絶縁不良、器具落下の原因となります。

5. カバーを取り付ける

- カバーを必ず手で固定しながら、カバーを本体にはめ込み、カバー取付ネジを回して、確実に取り付けてください。



注) カバーのひび割れ・欠け等の異常がないか確認のうえ、作業してください。

警告 落下・破損のおそれあり
取り付けが不完全な場合、落下によるけがの原因となります。
強く締め過ぎた場合、カバー破損によるけがの原因となります。